

## 「当たり前のことって。」

社川小学校 6年 すずき ひかる  
鈴木 光

みなさんは、当たり前という言葉の由来を知っていますか。諸説ありますが、僕が調べた本には、こう書かれていました。漁や狩りなどの共同作業で一人あたりに分配される取り分を「当たり前」といい、分配分を受け取るのは当然だとして、「当然」の意味を持つようになったそうです。「当たり前」には、「当然なこと」という意味があることが分かりました。では、みなさんにとって当たり前のことって何ですか。ぼくにとって、今の生活は当たり前のことだと思っていました。しかし、よく考えてみると、この世の中で、当たり前のことというのは、何一つないのではないかと考えました。

例えば、僕はサッカースクールに通っています。いつも当たり前のように練習していますが、これも当たり前のことではありません。ぼくたちがサッカーをできるように、ピッチを整備してくれる人がいます。ボールやスパイクなどのスポーツ用品を作ってくれる人がいます。このような人たちがいるからこそ、好きなサッカーができていることを忘れてはいけない気がします。そして、何よりも、僕が通っているサッカースクールは、郡山の磐梯熱海を練習場としています。そこまで、車で送り迎えをしてくれている親がいるということ。これを当たり前のことと考えてはなりません。きっと、この中にも、習い事や塾に通っている人もいるでしょう。それを当たり前と思ってはいけません。それぞれのやりたいことや夢を応援してくれている家族がいることに感謝しなければなりません。

他にも、僕は毎日小学校に通うことができます。これは、当たりの事でしょうか。実は当たりのことではありません。世界には、ぼくと同じ歳の子なのに、生活をしていくために、一日中働いていて、学校に通うことができない子もいます。戦争や紛争によって、国の治安が悪くなり、学校どころではないという国もあるようです。だから、今ぼくが学校に通っていることを当たり前と思ってはいけない気がします。この平和な日本に生まれたことに感謝しなければなりません。

また、東日本大震災の時には、大きな揺れ、大きな津波で、当たり前だった日常が当たり前ではなくなりなした。震災によって、いつも当たり前のように使っていた水が使えなくなったり、当たり前のように食べていた物が食べられなくなったりもしました。当たり前のように住んでいた家が崩れてしまった方もいました。そして、当たり前のように一緒にいた友達や家族を失った方も数多くいました。だからこそ、今の生活や自分の命を当たり前のことと思ってはいけないと考えました。

ぼくは、今、この世に生きています。これも当たり前のことですか。いいえ、ちがいます。お父さん、お母さんがいるからこそ生まれてきました。その前には、おじいさん、おばあさん、ひいおじいさん、ひいおばあさんがいました。そうつながりを見ていくと、ぼくが生まれてくる確率は、千四百兆分の一だそうです。この数字をみた時には、とてもすごい奇跡だなと思いました。ぼくの命も、他の人の命も当たり前のことではなく、この世に生まれたことに感謝し、これらを大切にしなければなりません。

ぼくがサッカースクールで好きなサッカーができていること、毎日学校に通うことができていること、そして、家族や友達と一緒に過ごすことができていること、それらを全て、当たり前のことだと思っていました。しかし、それらは当たり前のことではありません。当たり前前にできているというのを忘れてはいけません。これからは、世の中の色々なことに感謝しながら、

生活していきたいと思います。